

平成20年度「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」 審査要領

平成20年7月14日
「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」事業委員会決定

平成20年度「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」（以下「本事業」という。）の審査は、この審査要領にしたがって行うこととする。

I. 審査方針

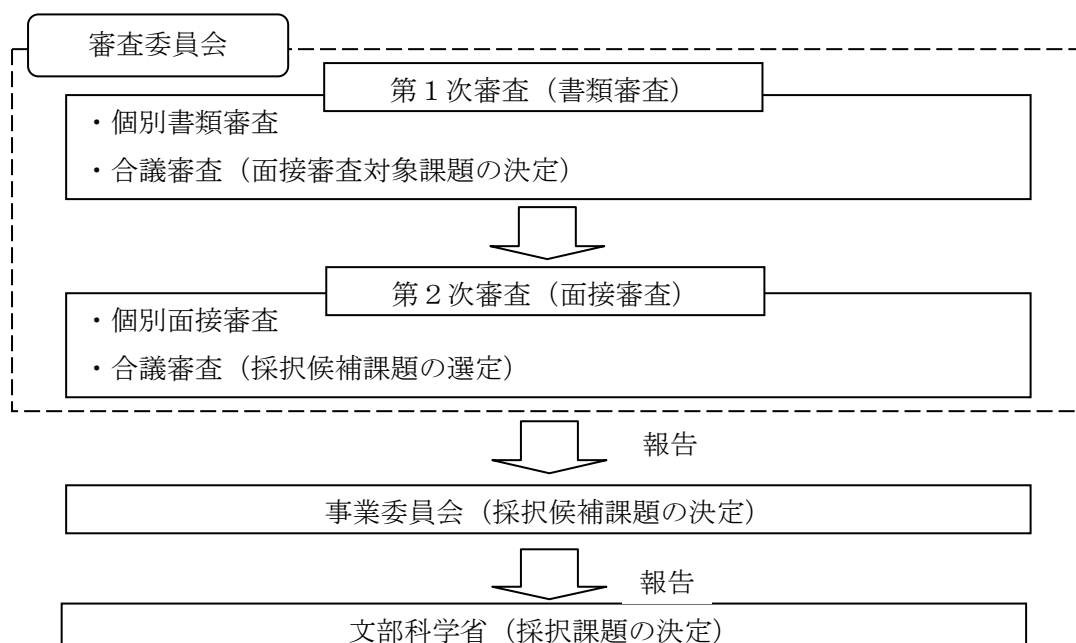
近未来において我が国が直面する経済的、社会的な諸課題の解決に向け、様々な機関等により集積されたデータを活用した経済・社会の分析など、実証的な研究方法に基づくとともに、その研究成果を課題解決のための選択肢として社会へ発信することを目指した社会科学のプロジェクト研究を大学等への委託を通じて実施することにより、「経済・社会の活性化」と「社会の安全・安心」の両立を視野にいれた「国民の生活と福祉の向上」に資するという本事業の目的及び研究領域の趣旨に合致するプロジェクト研究を採択する。

II. 審査の方法等

1. 審査方法

- (1) 本事業の審査は、第1次審査（書類審査）、第2次審査（面接審査）の2段階で行う。第1次及び第2次審査は、「近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業」事業委員会（以下「事業委員会」という。）に置く審査委員会が実施する。
- (2) 事業委員会は第1次及び第2次審査の結果を踏まえ、採択候補課題を決定し、文部科学省に報告する。

< 審査の手順 >



2. 第1次審査（書類審査）の進め方

(1) 個別書類審査

- ・審査委員は、研究提案書をもとに個別書類審査を行う。
- ・個別書類審査に当たっては、別紙1「書類審査書」を用いて、次表により評価を行う。

評価区分	
A	採択すべきである
B	余裕があれば採択してもよい
C	採択はすすめられない
D	採択しない

(2) 合議審査

審査委員は、個別書類審査の結果に基づき、合議により面接審査の対象課題を選定する。

評価区分	
○	面接審査を実施する
×	面接審査は実施しない

3. 第2次審査（面接審査）の進め方

(1) 個別面接審査

- ・審査委員は、研究提案書をもとに面接審査を行う。
- ・面接審査の実施に当たっては、別に定める「面接審査実施要領」により行う。
- ・面接審査を実施した課題に対しては、別紙2「面接審査書」を用い、次表により評価を行う。

評価区分	
A	採択すべきである
B	余裕があれば採択してもよい
C	採択しない

(2) 合議審査

審査委員は、個別面接審査の結果に基づき、合議により採択候補課題を選定する。

評価区分	
○	採択候補課題とする
×	採択候補課題としない

4. 採択候補課題の決定

事業委員会は、第1次審査及び第2次審査における結果を踏まえて、合議により採択候補課題を決定し、文部科学省に報告する。

評価区分	
○	採択候補課題とする
×	採択候補課題としない

Ⅲ. 審査に当たっての主な観点

1. 総論

① 研究提案書の内容が本事業の目的及び研究領域の趣旨に合致したものであるか。

2. 研究内容及び研究方法について

② 研究目的が明確な問題意識に基づく適切なものであるか。

③ 研究方法の実証性が担保されているか。

④ 政策や社会の要請に応える課題解決のための具体的な提案が期待できるか。

⑤ 研究成果が社会にもたらす効果について、具体的かつ現実的な見通しを持っているか。

⑥ 学術的に高い水準が確保されているか。

3. 研究実施体制について

- ⑦ 研究代表者が研究課題を推進する上で十分な能力及び経験を有するとともに、研究実施期間中、継続して研究全体に責務を持つことができるか。
- ⑧ 研究プロジェクトチームが、課題解決に向け、現状把握や将来予測（実証的な研究方法）、課題解決のための具体的な提案（高い実現可能性）という研究プロセスを総合的に推進できるまとまりのとれた構成となっているか。
- ⑨ 研究プロジェクトチームが、実現可能性を確保する観点から、必要に応じて、政策形成、司法、企業等における実務の専門家との連携の確保を視野に入れた構成となっているか。

4. その他

- ⑩ 研究遂行のための予算規模が適切であるとともに、予算執行体制（研究代表者の所属する研究機関の事務局の体制）が整っているか。

IV. その他

1. 開示・公開等

- (1) 審査の経過及び会議資料は、審査の円滑な遂行の観点から非公開とする。
- (2) 審査結果（採択課題）については、以下の情報とともに、独立行政法人日本学術振興会のホームページへの掲載等により、広く社会へ情報提供することとする。
 - ・研究課題名
 - ・研究領域
 - ・研究予定期間
 - ・責任機関名
 - ・研究代表者の氏名・所属部署・役職名
 - ・予算額
 - ・研究提案書「1. 基本情報」の「研究概要」
 - ・研究提案書「10. 研究イメージ図」
- (3) 審査に関わる委員の氏名は、審査終了後に公表する。

2. 利害関係者の排除

- (1) 委員は、研究代表者として本事業に応募することはできない。
- (2) 委員は、以下のいずれかに該当する場合は、速やかに申し出るとともに、当該課題の書類審査及び面接審査を行わないこととし、当該課題に関する個別審議の際は、議論や判断に加わらないこととする。
 - ① 応募課題の研究プロジェクトチームの構成員となっている場合
 - ② 責任機関に在職（就任予定を含む）する、又は過去3年以内に在職した場合
 - ③ 応募課題の研究代表者との関係において、次に掲げるものに該当すると自ら判断する場合
 - a) 親族関係もしくはそれと同等の親密な個人的関係
 - b) 密接な師弟関係もしくは直接的な雇用関係
 - c) その他、委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断される関係

3. 秘密保持

- (1) 委員として審査の過程で知り得た個人情報及び審査内容に係る情報については、外部に漏らしてはならない。
- (2) 委員として取得した情報（応募書類等、各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理に当たるものとする。

平成20年度「近未来の課題解決を目指した実証的科学研究推進事業」書類審査書

[作成委員名：]

研究領域		整理番号	
責任機関			
研究課題名			
研究代表者			

■総合評価

<input type="checkbox"/> A	採択すべきである
<input type="checkbox"/> B	余裕があれば採択してもよい
<input type="checkbox"/> C	採択はすすめられない
<input type="checkbox"/> D	採択しない

[コメント（総合評価）]

■「審査に当たっての主な観点」ごとの評価

(1) 総論

- ① 研究提案書の内容が本事業の目的及び研究領域の趣旨に合致したものであるか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

[コメント：(1) 総論]

(2) 研究内容及び研究方法について

- ② 研究目的が明確な問題意識に基づく適切なものであるか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

- ③ 研究方法の実証性が担保されているか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

- ④ 政策や社会の要請に応える課題解決のための具体的な提案が期待できるか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

- ⑤ 研究成果が社会にもたらす効果について、具体的かつ現実的な見通しを持っているか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

- ⑥ 学術的に高い水準が確保されているか。

[A. 非常に優れている/B. 優れている/C. やや劣っている/D. 劣っている]

[コメント：(2) 研究内容及び研究方法について]

(3) 研究実施体制について

- ⑦ 研究代表者が研究課題を推進する上で十分な能力及び経験を有するとともに、研究実施期間中、継続して研究全体に責務を持つことができるか。

〔A. 非常に優れている / B. 優れている / C. やや劣っている / D. 劣っている〕

- ⑧ 研究プロジェクトチームが、課題解決に向け、現状把握や将来予測（実証的な研究方法）、課題解決のための具体的な提案（高い実現可能性）という研究プロセスを総合的に推進できるまとまりのとれた構成となっているか。

〔A. 非常に優れている / B. 優れている / C. やや劣っている / D. 劣っている〕

- ⑨ 研究プロジェクトチームが、実現可能性を確保する観点から、必要に応じて、政策形成、司法、企業等における実務の専門家との連携の確保を視野に入れた構成となっているか。

〔A. 非常に優れている / B. 優れている / C. やや劣っている / D. 劣っている〕

[コメント：(3) 研究実施体制について]

(4) その他

- ⑩ 研究遂行のための予算規模は適切か。

〔A. 適切である、B. 不適切である〕

[Bを選択した場合は、その理由を記入してください。]

■この課題が面接審査の対象となった場合、説明を求めたい事項があればご記入ください。

(特に、「総合評価」で「A」又は「B」を選択した研究課題については、できるだけ記入してください。)

平成20年度「近未来の課題解決を目指した実証的科学研究推進事業」面接審査書

[作成委員名：]

研究領域		整理番号	
責任機関			
研究課題名			
研究代表者			

■総合評価

<input type="checkbox"/> A	採択すべきである
<input type="checkbox"/> B	余裕があれば採択してもよい
<input type="checkbox"/> C	採択しない

■コメント

①優れている点

--

②改善が必要な点

--

③その他

--